



秋の深まりとともに～笑顔から次なる挑戦へ～

先日の土曜参観には多くの皆様にご来校いただきありがとうございました。子どもたちが、学習する様子をご覧いただけたかと思います。また、その後行われた「ばんけい祭」は、6年生による迫力ある「盤溪小ソーラン」で華やかに幕を開けました。各学年の工夫あふれるブースや「けんけん相撲」など、テーマの「スマイル☆ばんけい祭」のとおり、子どもたちの笑顔が広がる素晴らしい一日となりました。ばんけい祭委員の皆様をはじめ保護者の皆様の情熱と工夫、そして教職員も一緒に思い切り楽しむことで、大成功を収めることができました。心より感謝申し上げます。

さて、10月はスポーツの秋です。本校でも「マラソン記録会」「どんぐりサッカー大会」「どんぐりスポーツ大会」と行事が目白押しです。今年度は従来の練習に加え、異学年の「どんぐり学級」ごとに子どもたち自身で練習日程やメニューを考え、試合を組む自発的な取り組みを進めています。

また、今年度は「サッカー大会」「どんぐりスポーツ大会」で「①主体性 ②協力 ③スポーツマンシップ」を評価する「どんぐり賞」を新設いたしました。勝敗だけでなく、互いを高め合う姿勢こそが生涯スポーツを楽しむ糧となると考えております。当日はぜひ「どんぐり賞」の視点からも子どもたちの輝きをご覧いただき、温かいご声援をお願いいたします。

【10月の行事予定】

	月	火	水	木	金
	28 (月)	29 (火)	30 (水)	10/1 (木)	2 (金)
22 週	マラドサ 14 時バス	個人懇談③ 14 時バス	マラドサ 個人懇談④ 14 時バス	マラソン記録会 個人懇談⑤ 14 時バス PTA 常任委員会	マラソン記録会予備日 二計測・視力
23 週	5 全校朝会 体力テスト 14時バス	6 ALT来校 体力テスト	7 どんぐり遊び 体力テスト 委員会活動	8 5年生宿泊学習 1日目	9 5年生宿泊学習 2日目 マット運動週間(～10/23)
24 週	12 スポーツの日	13	14 クラブ活動	15 どんぐり サッカー大会	16 サッカー大会予備日 ALT来校
25 週	19 14時バス	20 札教研 秋の全市集会 12時バス	21 どんぐり遊び クラブ活動(最終) PTA 役員会	22 どんぐりスポーツ大会	23 どんぐりスポーツ大会予備日 ALT来校
26 週	26 14時バス	27	28 委員会活動	29 ALT 来校	30 31(土)

どんぐりサッカー大会・どんぐりスポーツ大会

10月は、1日のマラソン記録会を皮切りに「どんぐりサッカー大会」と「どんぐりスポーツ大会」があります。大会に向け、子どもたちは休み時間や体育の時間を使い、声を掛け合いながら熱心に練習に励んでいます。当日は、これまでの練習の成果を力いっぱい発揮してほしいと願っています。全力のプレーはもちろんのこと、仲間と声を掛け合う姿や、自分たちで考えて動く姿にもぜひご注目ください。

先日、キャプテンによる組み合わせ抽選会が行われ、どんリーグ・ぐりリーグが決まりましたのでお知らせいたします。

当日は、一生懸命に取り組む子どもたちへ、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

《どんぐりサッカー大会》 アンフィニサッカー場

日時：10月15日（木）予備日16日（金）9：10～11：30

どんリーグ⇒1・3・4組 ぐりリーグ⇒2・5・6組

《どんぐりスポーツ大会》 本校グラウンド

3・4年生、5・6年生 どんぐりタグラグビー大会

日時：10月22日（木）予備日23日（金） 8：30～ 9：55

どんリーグ⇒1・2・5組 ぐりリーグ⇒3・4・6組

1・2年生 どんぐり鬼ごっこ大会

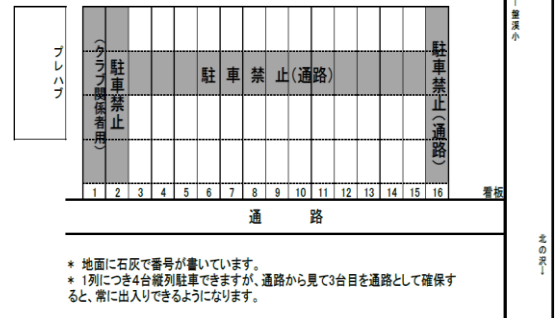
日時：10月22日（木）予備日23日（金） 10：30～11：50

全学級総当たり戦

アンフィニサッカー場 駐車場図

悪天候などにより、延期や時間の変更などをする場合、朝8時をめどにすぐるにてお知らせします。2週続けて大会があります。お子さんが雨に当たる場合もありますので、お着替えボックスの中身を確認してください。

- ・どんぐりサッカー大会の際は、右図を参考にアンフィニサッカー場に駐車してください。
- ・どんぐりスポーツ大会の際の駐車場につきましては、盤溪スキ場ウェスト前駐車場にお願いします。



下校時刻の確認をお願いします



20日（火）は札幌教研秋の研究集会のため、3時間授業の後、給食を食べて12時バスで下校します。通常の時刻と異なりますので、お子さんをご確認ください。

ネットコラムシリーズ4 子どもが知らずに加害者に？ネットでの言葉の責任

「うちの子がネットいじめの加害者に？」——そんなことはないと思いたい。しかし、SNSやチャットアプリが日常に溶け込んだ今、子どもが軽い気持ちで書き込んだ一言が、誰かを深く傷つけてしまうことがあります。悪意がなくても、結果的に加害者になってしまうケースは少なくありません。

ネット上では、顔が見えない分、言葉の重みが軽く感じられがちです。「冗談のつもりだった」「みんなが言っていたから」——そんな理由で投稿された言葉が、相手にとっては深刻な攻撃になることもあります。特に子どもは、言葉の影響力や相手の受け取り方を十分に理解していないことが多く、無意識のうちに加害行為に加担してしまうことがあります。

保護者としてできることは、まず「ネットの言葉にも責任がある」という意識を子どもに持たせることです。画面の向こうには感情を持った人がいること、そして一度発信した言葉は簡単には消せないことを、具体的な事例を交えて伝えると効果的です。

また、家庭での会話も重要です。「こんな投稿を見たけど、どう思う？」「もし友達が傷ついていたらどうする？」といった問いかけを通じて、子ども自身が考える力を育てましょう。禁止や監視だけではなく、対話を通じて価値観を共有することが、予防につながります。

ネットは便利で楽しい場所ですが、同時に「言葉の責任」が問われる場でもあります。子どもが知らずに誰かを傷つけないよう、保護者としてできることはたくさんあります。まずは今日、子どもと「ネットでの言葉」について話してみませんか。